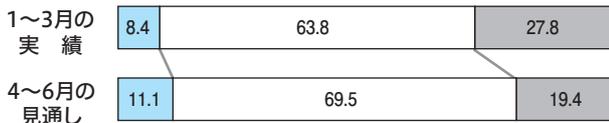


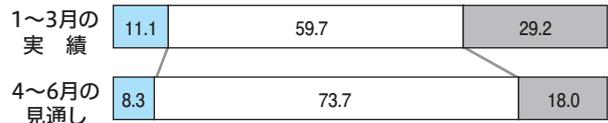
■ 製造業

回答企業数72企業(回答率100%)

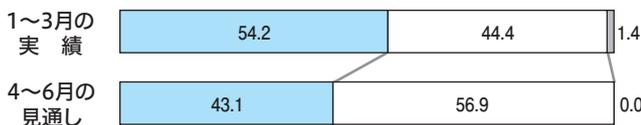
【業況】



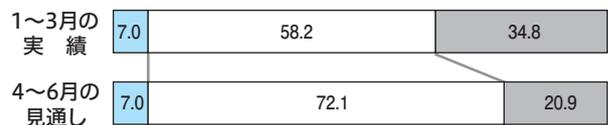
【売上額】



【原材料価格】



【収益】



■ 増加・やや増加(良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図

概況(1月▶3月期)

業況判断D.Iは△19.4、前期比2.7%の低下

項目別では、売上額判断D.Iが△18.1と前期比2.8%、収益判断D.Iが△27.8と同比7.0%ともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△9.7、前期比7.0%、同収益判断D.Iが△22.2、同比9.7%ともに改善しました。雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△11.1と前期比4.2%低下し、人手不足感が強まりました。また、前期比残業時間D.Iは4.2と前期比8.4%改善しました。

借入金の動きでは、「借入した」が25.0% (前期

23.6%)、「予定あり」が15.3% (同23.6%) を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は4.2% (前期9.7%) となりました。

経営上の問題点では、「原材料高」が56.9%、「売上の停滞・減少」が34.7%、「利幅の縮小」が30.6%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(4月▶6月期)

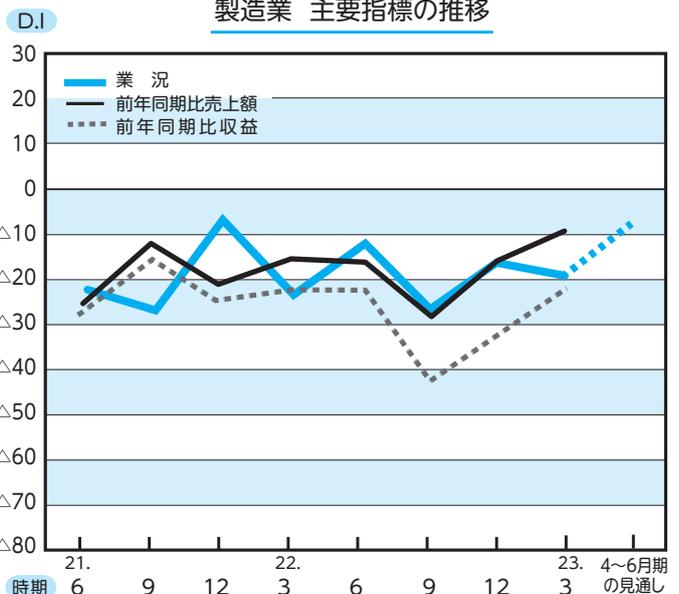
業況の見通し判断D.Iは△8.3、当期実績比11.1%改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比8.4%、収益判断D.Iが同比13.9%ともに改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比4.1%低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比1.4%、残業時間判断D.Iが同比5.6%ともに低下の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が70.8%、「販路を広げる」が34.7%、「人材を確保する」が25.0%と上位に挙げられました。

製造業 主要指標の推移



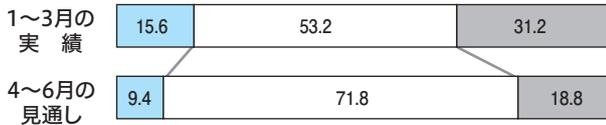
調査員のコメントから

ロシア・ウクライナ情勢の問題から、半導体不足の影響により業況は改善されてない。解消には期間を要す見通しで、先行き不透明感は払拭できない。

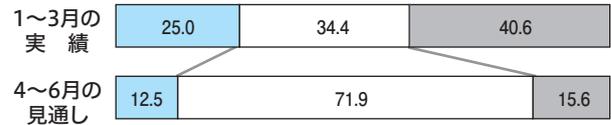
■ 卸 売 業

回答企業数32企業(回答率97.0%)

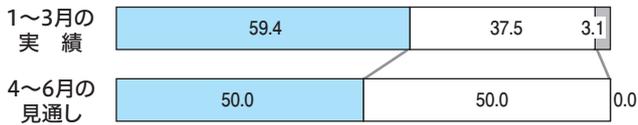
【業 況】



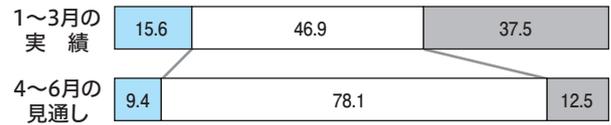
【売上額】



【仕入価格】



【収 益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図

概況(1月▶3月期)

業況判断D.Iは△15.6、前期比17.7%の改善



項目別では、売上額判断D.Iが△15.6と前期比6.5%、収益判断D.Iが△21.9と同比6.7%ともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△6.3、前期比11.9%、同収益判断D.Iが△25.0、同比2.3%ともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△12.5と前期比3.4%低下し、人手不足感が強まりました。また、前期比残業時間D.Iは△6.3と前期比3.3%低下しました。

借入金の動きでは、「借入した」が9.4%（前期12.1%）、「予定あり」が15.6%（同12.1%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は6.3%（前期9.1%）となりました。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が43.8%、「利幅の縮小」が34.4%、「同業者間の競争激化」が31.3%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(4月▶6月期)

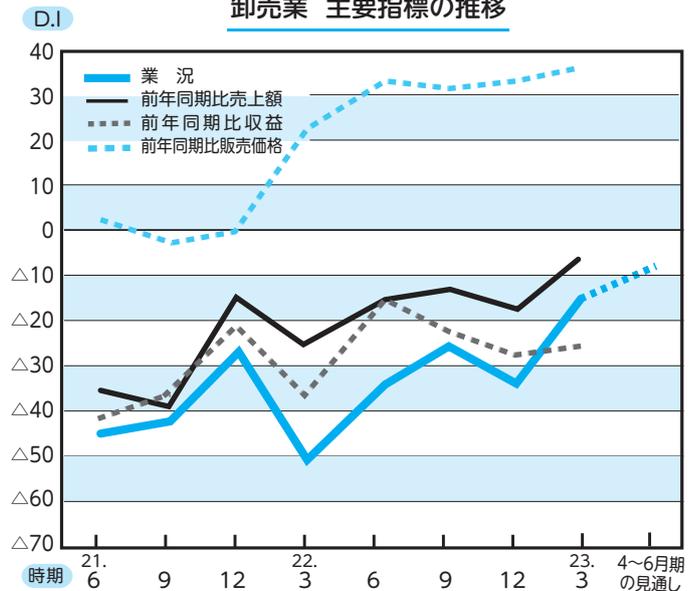
業況の見通し判断D.Iは△9.4、当期実績比6.2%改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比12.5%、収益判断D.Iが同比18.8%ともに改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iでは当期実績比6.2%上昇を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比横ばい、残業時間判断D.Iが同比横ばいの見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が59.4%、「販路を広げる」が56.3%、「情報力の強化」が25.0%と上位に挙げられました。

卸売業 主要指標の推移

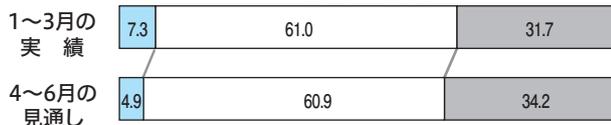


調査員のコメントから

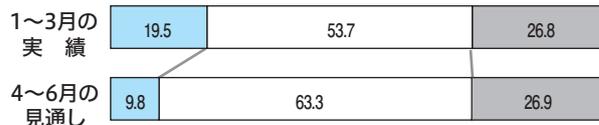
原材料の高騰により収益悪化に繋がっているため商品価格への転嫁を検討せざるを得ない。先行きが不安である。

■ 小 売 業 回答企業数41企業(回答率100%)

【業 況】



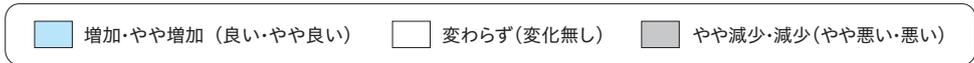
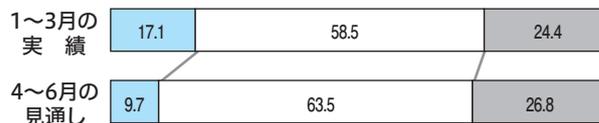
【売上額】



【仕入価格】



【収 益】



概況(1月▶3月期)

景況天気図



業況判断D.Iは△24.4、前期比9.7%の改善

項目別では、売上額判断D.Iが△7.3と前期比9.8%、収益判断D.Iが△7.3と同比22.0%ともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△12.2、前期比17.1%、同収益判断D.Iが△22.0、同比17.0%ともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△12.2と前期比7.3%低下し、人手不足感が強まりました。また、前期比残業時間D.Iは△7.3と前期比2.4%低下しました。

借入金の動きでは、「借入した」が12.2%（前期9.8%）、「予定あり」が7.3%（同2.4%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は4.9%（前期0.0%）となりました。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が41.5%、「大型店との競争激化」が31.7%、「同業者間の競争激化」が26.8%と上位に挙げられました。

見通し(4月▶6月期)

3ヶ月予報



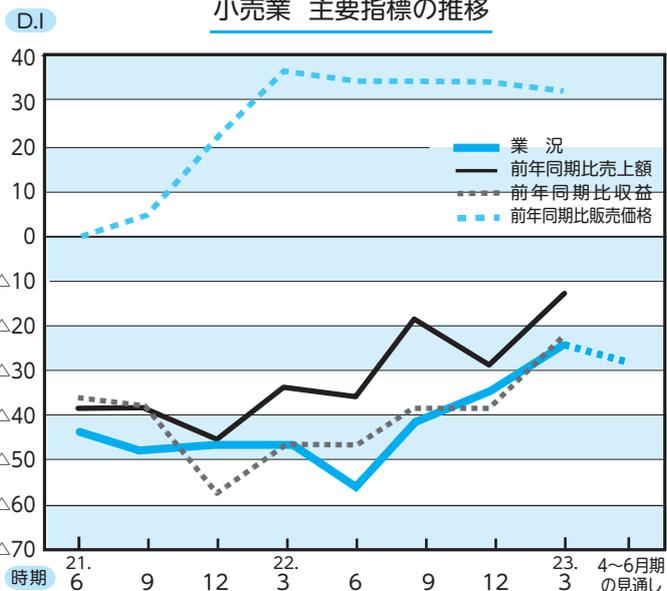
業況の見通し判断D.Iは△29.3、当期実績比4.9%低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比9.8%、収益判断D.Iが同比9.8%ともに低下を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比7.3%低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比2.4%低下、残業時間判断D.Iが同比9.7%改善の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が70.7%、「品揃えを改善する」が29.3%、「宣伝・広告の強化」・「売れ筋商品の取扱」がそれぞれ17.1%と上位に挙げられました。

小売業 主要指標の推移



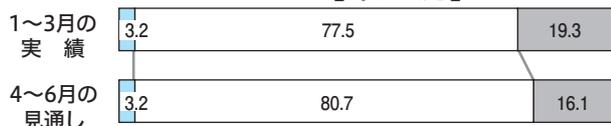
調査員のコメントから

売上高安定を図るため固定客の確保に努めている。一方、仕入価格の上昇を販売価格への転嫁が難しいため、固定費削減に努めている。

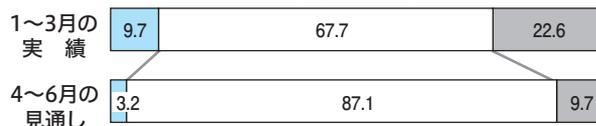
■ サービス業

回答企業数31企業(回答率100%)

【業況】



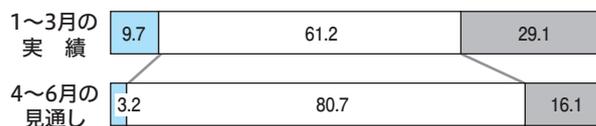
【売上額】



【材料価格】



【収益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図

概況(1月▶3月期)

業況判断D.Iは△16.1、前期比6.5%の改善

項目別では、売上額判断D.Iが△12.9と前期比9.7%、収益判断D.Iが△19.4と同比9.7%ともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△6.5、前期比9.7%、同収益判断D.Iが△25.8、同比9.7%ともに低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△19.4と前期比3.3%低下し、人手不足感が強まりました。また、前期比残業時間D.Iは0.0と前期比6.5%改善しました。

借入金の動きでは、「借入した」が6.5%（前期3.2%）、「予定あり」が9.7%（同0.0%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は6.5%（前期9.7%）となりました。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が41.9%、「材料価格の上昇」が38.7%、「人手不足」が22.6%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(4月▶6月期)

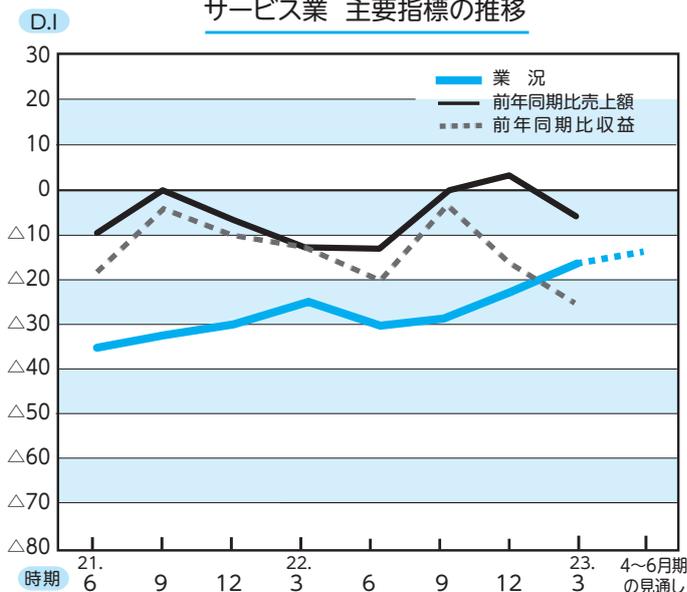
業況の見通し判断D.Iは△12.9、当期実績比3.2%改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比6.4%、収益判断D.Iが同比6.5%ともに改善を見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比3.2%低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比3.3%改善、残業時間判断D.Iが同比横ばいの見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が51.6%、「販路を広げる」が45.2%、「宣伝・広告の強化」が25.8%と上位に挙げられました。

サービス業 主要指標の推移



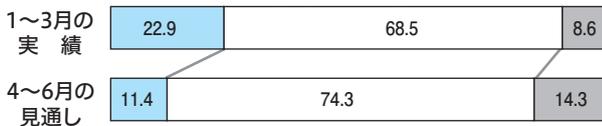
調査員のコメントから

仕入価格の上昇により景気見通しに不安を抱えている。また、人手不足が深刻である。

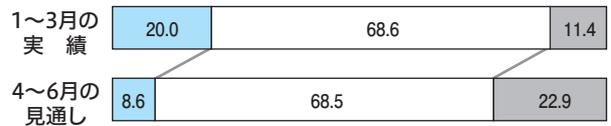
■ 建設業

回答企業35企業(回答率97.2%)

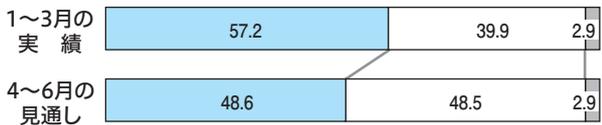
【業況】



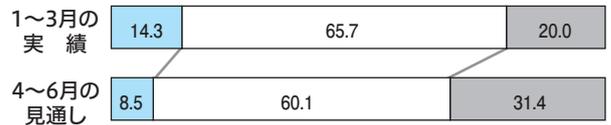
【売上額】



【材料価格】



【収益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図

概況(1月▶3月期)

業況判断D.Iは14.3、前期比8.7%の上昇

項目別では、売上額判断D.Iが8.6と前期比5.8%上昇、受注残判断D.Iが2.9と同比11.2%改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが2.9、前期比5.7%改善、同収益判断D.Iが△20.0、同比6.1%低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△14.3と前期比3.2%低下し、人手不足感が強まりました。また、前期比残業時間D.Iは△2.9と前期比5.7%低下しました。

借入金の動きでは、「借入した」が31.4%(前期

19.4%)、「予定あり」が17.1%(同11.1%)を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は8.6%(前期5.6%)となりました。

経営上の問題点では、「材料価格の上昇」が60.0%、「同業者間の競争激化」が37.1%、「人手不足」が25.7%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(4月▶6月期)

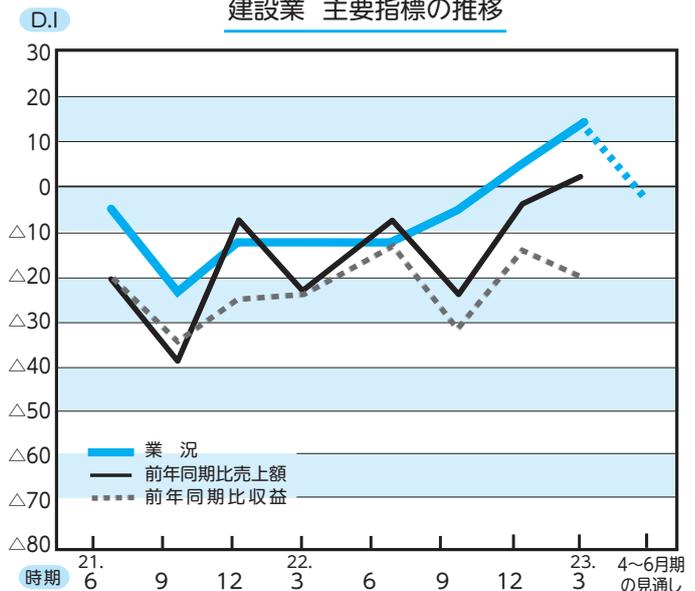
業況の見通し判断D.Iは△2.9、当期実績比17.2%低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比22.9%、収益判断D.Iが同比17.2%ともに低下を見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比8.6%低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比2.8%、残業時間判断D.Iが同比2.8%ともに低下の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が65.7%、「人材を確保する」が34.3%、「販路を広げる」が28.6%と上位に挙げられました。

建設業 主要指標の推移



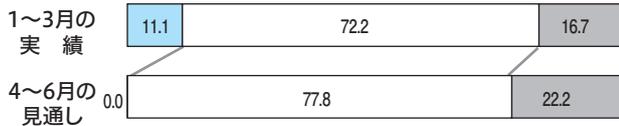
調査員のコメントから

主要取引先からの受注は安定しているが材料費等の高騰が懸念される。また、慢性的に人材が不足しており人材の確保が課題である。

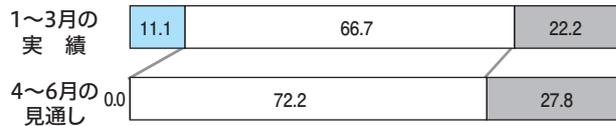
■ 不動産業

回答企業数18企業(回答率100%)

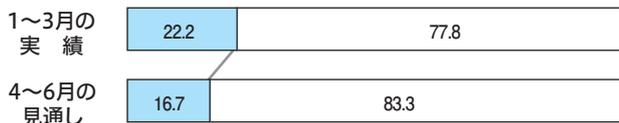
【業況】



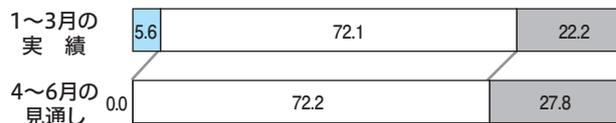
【売上額】



【仕入価格】



【収益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図

概況(1月▶3月期)

業況判断D.Iは△5.6、前期比5.6%の低下



項目別では、売上額判断D.Iが△11.1と前期比22.2%、収益判断D.Iが△16.7と同比27.8%ともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△5.6、前期比11.2%、同収益判断D.Iが△5.6、同比5.6%ともに低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△27.8と前期比5.6%低下し、人手不足感が強まりました。また、前期比残業時間D.Iは5.6と前期比16.7%改善しました。

借入金の動きでは、「借入した」が5.6% (前期11.1%)、「予定あり」が11.1% (同16.7%)を示しています。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が38.9%、「人手不足」・「大手企業との競争激化」・「商品物件の不足」がそれぞれ22.2%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(4月▶6月期)

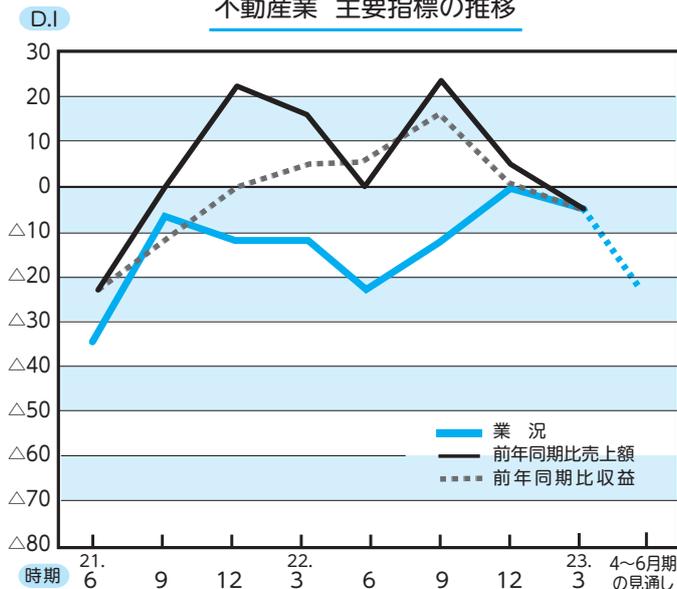
業況の見通し判断D.Iは△22.2、当期実績比16.6%低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比16.7%、収益判断D.Iが同比11.1%ともに低下を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比横ばいを見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比横ばい、残業時間判断D.Iが同比横ばいの見通しとなっています。

当面の重点施策では、「情報力の強化」が50.0%、「宣伝・広告の強化」が44.4%、「販路を広げる」が33.3%と上位に挙げられました。

不動産業 主要指標の推移



調査員のコメントから

地域により格差があるが概ね堅調に推移している。一方で、家賃の値下げ要請や空室が多くなっている。

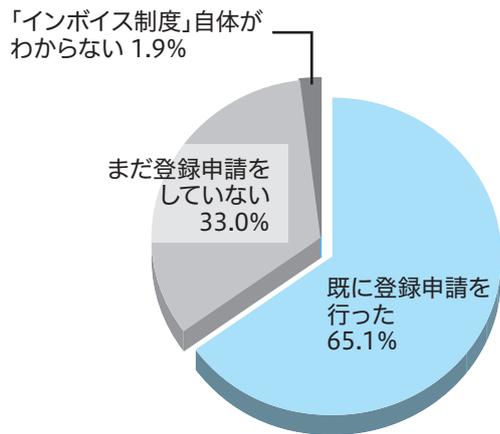
特別調査

中小企業におけるデジタル化への対応について

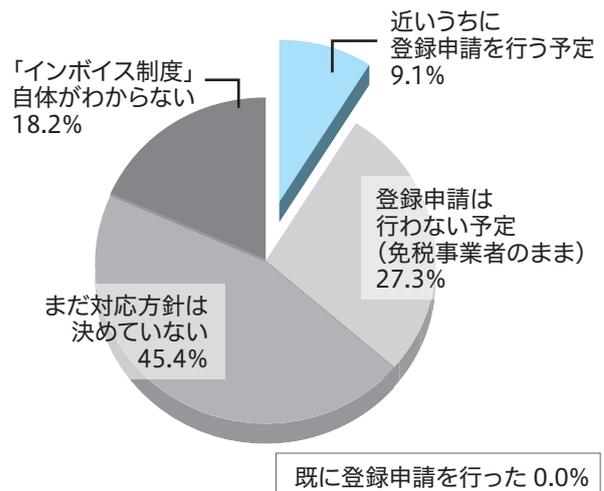
問1

2023年10月に開始予定の「インボイス制度（適格請求書等保存方式）」へ向けて、インボイス（適格請求書）発行事業者への登録申請を求める動きがありますが、貴社ではどのように対応していますか。

—— 課税事業者 ——
(消費税を納付している事業者)



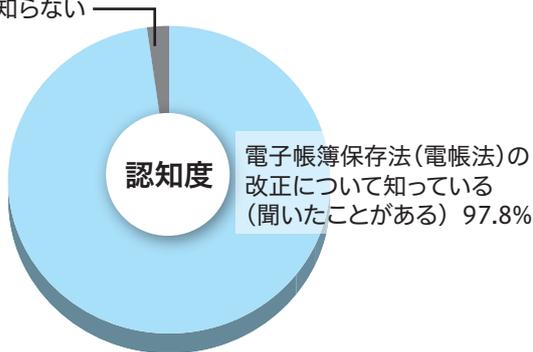
—— 免税事業者 ——
(消費税の納税免除を受けている事業者)



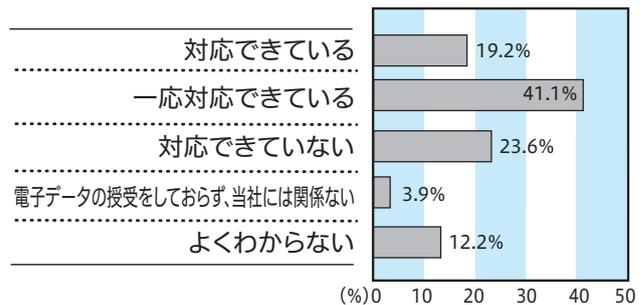
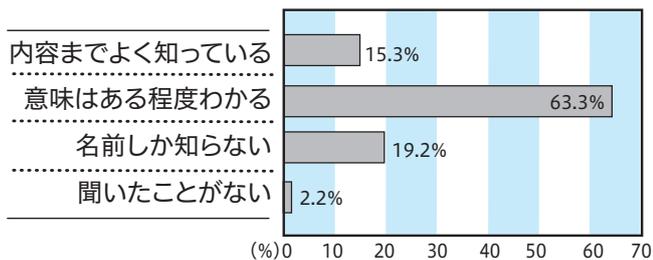
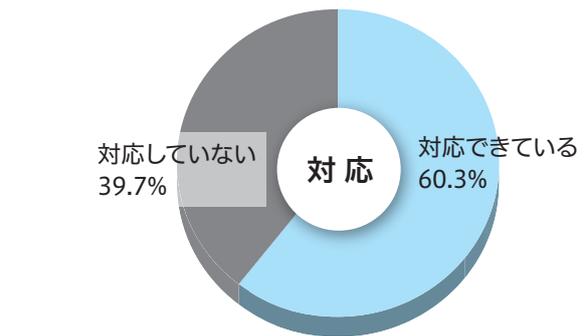
問2

電子帳簿保存法（電帳法）が改正され、請求書などに関する電子データを送付・受領した場合には、その電子データを一定の要件を満たした形で保存することが必要となりました。この改正についてお答えください。

電子帳簿保存法（電帳法）の改正について知らない 2.2%

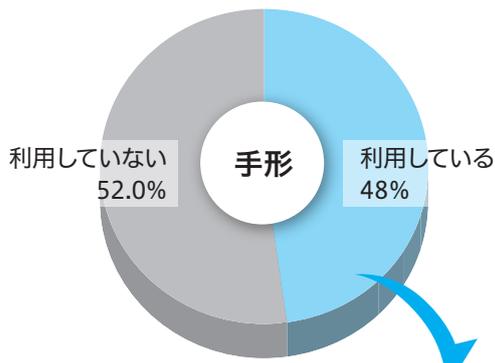


対応していない 39.7%

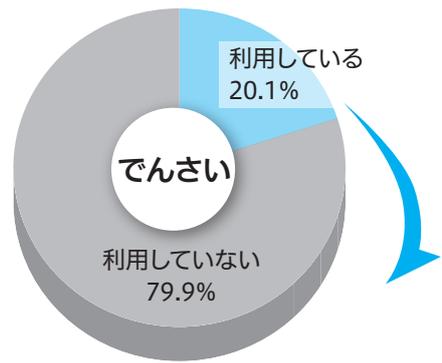
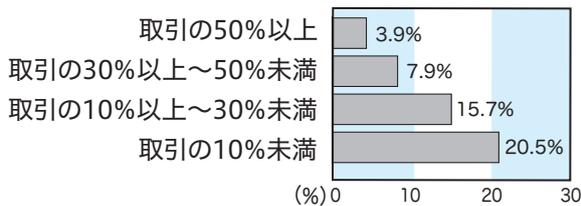


問3

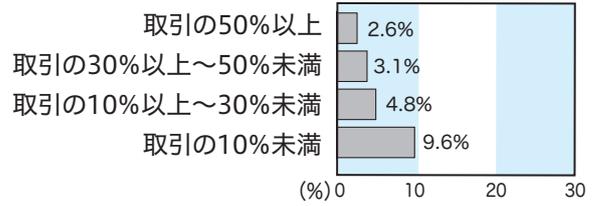
貴社では、企業間での資金決済の際、手形をどの程度利用していますか。また、でんさい（電子記録債権）をどの程度利用していますか。



【手形の利用頻度】

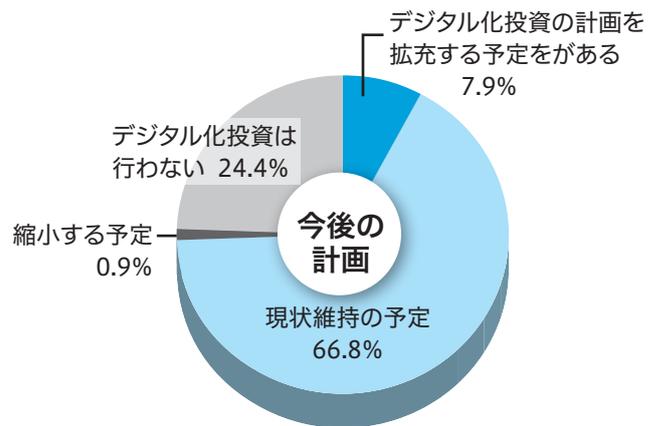
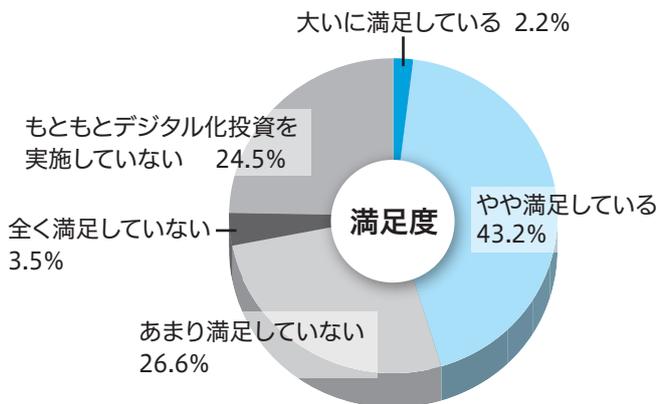


【でんさいの利用頻度】



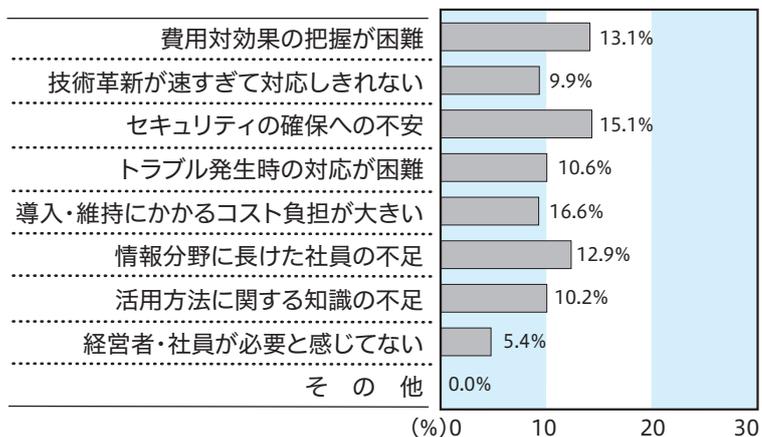
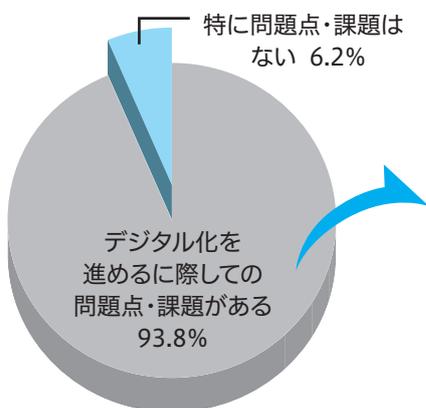
問4

貴社では、これまで行ってきたデジタル化投資（コンピュータ、ネットワーク関連機器・ソフトウェアの購入、利用環境の整備等全般）の費用対効果について、どのように感じていますか。



問5

貴社では、デジタル化を進めるに際しての問題点・課題として、どのようなものが考えられますか。



提携事業所にお勤めのみなさまへ

QRコードを読み取っていただくことで結城信用金庫のホームページにアクセスできます。



職域サポート契約制度

職域サポート契約制度とは？

当金庫と職域サポート契約制度を締結いただいている提携事業所にお勤めの皆様全員が対象となり、各種ローンをご利用される場合、特別金利でご利用いただける制度です。

提携事業所は、次のいずれかの要件も満たすものとします。

- ①当金庫営業区域内で事業を営んでいる法人・個人事業主（従業員数5名以上）であること。
- ②手形交換所または電子債権記録機関の取引停止処分のないこと。
- ③当金庫との取引の有無は問いません。（当金庫営業区域内の地方公共団体等）

ご利用いただける方

（右記の条件をすべて満たされる方）

- 契約先の代表者、役員または従業員の方
- 申込時の年齢が18歳以上の方（但し、一般個人ローンは20歳以上の方）
- 保証会社の保証が得られる方

下記の
ローン商品の金利を
店頭表示金利から

年1.50% 引き下げます。

※ただし、他の金利引き下げ適用との重複はできません。

職域サポート契約制度の対象ローン（一社）しんきん保証基金6商品

一般個人ローン

ご融資金額 500万円以内

ご利用期間 10年以内

ブライダルローン

ご融資金額 500万円以内

ご利用期間 10年以内

カーライフプラン

ご融資金額 1,000万円以内

ご利用期間 10年以内

教育プラン

ご融資金額 1,000万円以内

ご利用期間 16年以内

子育て応援プラン

ご融資金額 100万円以内

ご利用期間 10年以内

リフォームプラン

ご融資金額 1,000万円以内

ご利用期間 15年以内

商品の詳しい内容につきましては、お近くの窓口またはホームページにてご確認ください。

※上記ローンにつきましては、事前に審査があり、審査結果によってはご希望に添えない場合がございます。

※勤務先を通じてお申込みする必要はありません。直接当金庫の担当者へご連絡ください。

また、お申込みおよびお申込み内容等は個人情報ですので、勤務先へお知らせすることは一切ございません。

2024年版カレンダー「ユーシンのある街」写真コンテスト

結城信用金庫の店舗がある街で未来に残しておきたい風景・街並み・祭りなどをテーマに写真コンテストを開催中！

応募作品の中から優秀作品を選定し、2024年のカレンダーに採用します。

※応募要領につきましては当金庫ホームページをご覧ください。

— 後 記 —

ユーシン景気動向調査に、ご理解とご協力を頂きまして、厚くお礼申し上げます。

皆さまのご意見、ご希望をどしどしお寄せください。

結城信用金庫営業統括部

〒307-8601 結城市大字結城557番地
TEL(0296)32-2110 FAX(0296)33-0414
<http://www.shinkin.co.jp/yuki/>